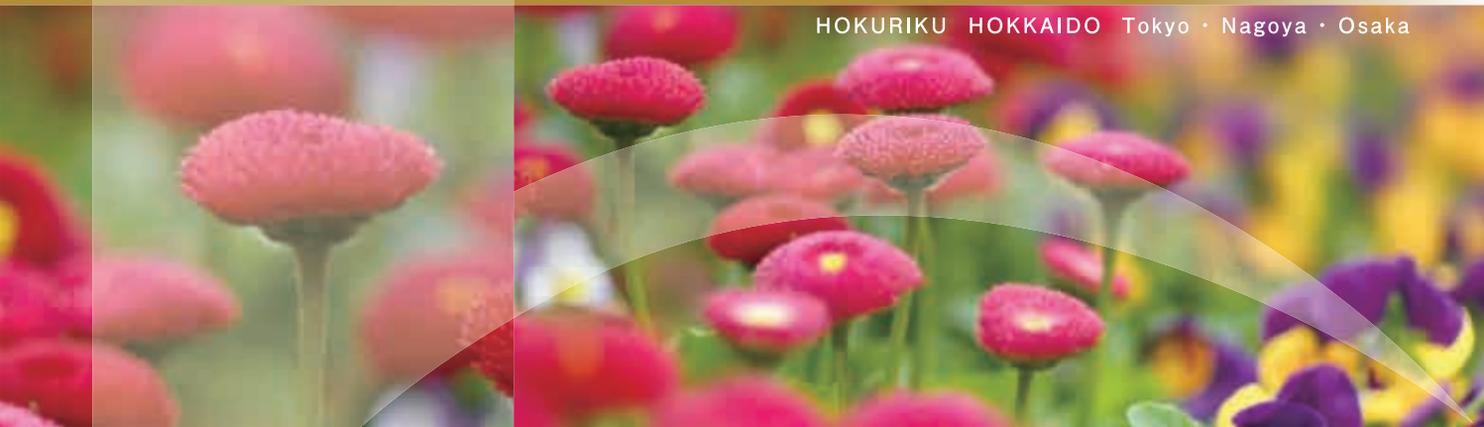


# ミニディスクロージャー誌

平成25年3月期・営業の中間ご報告

INTERIM MINI DISCLOSURE 2012

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group, Inc.

HOKKAIDO BANK  
CURLING  
STADIUM

札幌市営カーリング場「どうぎんカーリング  
スタジアム」がオープン



- 今年で26回目を迎える「道銀ライラックコンサート」(上)
- 「道銀の森」第4回植樹を実施(下)



活気あふれる地域づくりに貢献します。

地域とあなたのために  
もっと。



災害時相互協力協定 締結



- 大垣共立銀行との「災害時相互協力協定」の締結(上)
- ほぼほぼ通りに北陸新幹線開通をイメージした富山市のジオラマを展示(下)



北陸銀行所有の絵画を展示する  
美術館「ギャラリー・ミレー」がオープン



取締役社長 **高木 繁雄**  
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 **堰 八 義博**  
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃より当社およびグループ会社に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

ここに、ほくほくフィナンシャルグループの「ミニディスクロージャー誌(平成25年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。

本誌は、平成24年度中間期の業績や地域金融機関としての取り組みをご紹介します。ぜひご一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

さて、わが国の経済は、復興需要の本格化により国内需要が底堅く推移しているものの、欧州債務問題の深刻化、新興国経

済の減速、円高進行など、取り巻く環境は依然として不透明感が強く、景気回復の足取りは鈍化しております。

こうした中、当社グループでは「地域に親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指して、お客さまの心に寄り添った金融サービスの提供に努めております。

傘下の北陸銀行では、金融円滑化法の最終年度にあたり、経営改善支援の取り組みとして、経済産業省の中小企業支援ネットワーク強化事業に基づいた経営相談会を北陸三県延べ124カ店で開催し、新規事業や販路拡大、海外展開などの経営相談を承っております。また、北海道銀行ではシンクタンク機能の発揮を通じて地域の発展、活性化に寄与することを目的として100%子会社の「株式会社道銀地域総合研究所」が事業を開始いたしました。

資本政策面では、資本効率の向上を図るため、平成24年5月から9月にかけて約59億円で計5千万株の自己株式を取得いたしました。引き続き株主価値の向上を図ってまいります。

平成24年度は中期経営計画“Road to 10”の最終年度にあたり、計画の3本の柱である「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の安定化」と預金量10兆円の金融グループ実現に向け一層の経営努力を重ねるとともに、「地域共栄」の精神で地域のお客さまとともに発展していくことを目指してまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成24年12月

目次

02 ごあいさつ	11 地域経済活性化のために(北陸銀行)	17 財務諸表(ほくほくフィナンシャルグループ単体/連結)
03 業績ハイライト	12 トピックス(北陸銀行)	19 財務諸表(北陸銀行単体)
07 グループの概要	13 地域とともに(北海道銀行)	20 財務諸表(北海道銀行単体)
08 地域とのかかわり	15 地域経済活性化のために(北海道銀行)	21 株式のご案内
09 地域とともに(北陸銀行)	16 トピックス(北海道銀行)	22 経営理念等

## 営業の概況

## ■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位: 億円)

	24年9月期	前中間期比	23年9月期
	経常収益	1,057	0
経常利益	89	△100	189
中間純利益	61	△28	89
自己資本比率	11.90%	0.33%	11.57%

## ■ 北陸銀行・北海道銀行

(単位: 億円)

	2行合算		23年9月期
	24年9月期	前中間期比	
経常収益	985	11	973
コア業務粗利益	735	△38	773
経費(臨時処理分を除く)	485	△29	514
コア業務純益	250	△9	259
与信費用	104	39	64
有価証券等関係損益	△35	△48	12
経常利益	94	△99	193
中間純利益	70	△28	98

(単位: 億円)

	北陸銀行		23年9月期
	24年9月期	前中間期比	
経常収益	562	21	540
コア業務粗利益	424	△27	452
経費(臨時処理分を除く)	259	△17	277
コア業務純益	164	△9	174
与信費用	95	75	19
有価証券等関係損益	△36	△26	△10
経常利益	23	△115	138
中間純利益	19	△50	69
自己資本比率	11.89%	0.27%	11.62%

(単位: 億円)

	北海道銀行		23年9月期
	24年9月期	前中間期比	
経常収益	423	△9	432
コア業務粗利益	310	△11	321
経費(臨時処理分を除く)	225	△11	237
コア業務純益	85	0	84
与信費用	8	△35	44
有価証券等関係損益	1	△21	22
経常利益	71	16	54
中間純利益	50	21	29
自己資本比率	11.05%	0.48%	10.57%

当社における24年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期と同水準の1,057億円、連結経常利益は前中間期比100億円減少し89億円、連結中間純利益は同28億円減少し61億円となりました。

連結自己資本比率は11.90%となりました。

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただきます。期末一括配当1株当たり3円75銭を予定しております。なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

貸出金利息の減少等によりコア業務粗利益が前中間期比38億円減少したものの、経費が同29億円減少し、コア業務純益は、前中間期比9億円減少の250億円となりました。

経常利益は、大口取引先の法的整理に伴う与信費用の増加と株式等償却の増加により、前中間期比99億円減少し94億円となりました。

中間純利益は、特別損益の改善と税金費用の減少により前中間期比28億円の減少にとどまり、70億円となりました。

## 損益の状況

### ■ コア業務粗利益 <2行合算>



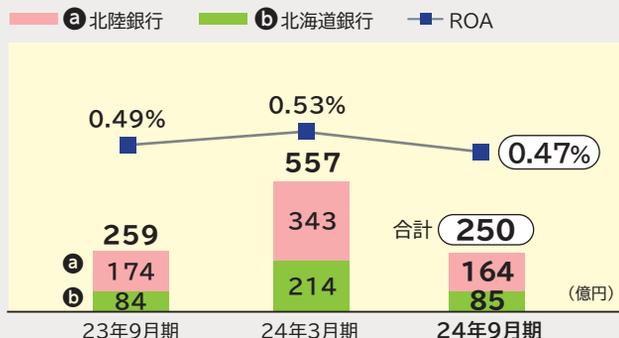
資金利益は、利回り低下による貸出金利の減少により、前中間期比21億円減少し625億円となりました。

役務取引等利益は、投信販売手数料の伸び悩み等から、前中間期比5億円減少し91億円となりました。

その他の利益は、金融派生商品収益の減少により、前中間期比12億円減少の17億円となりました。

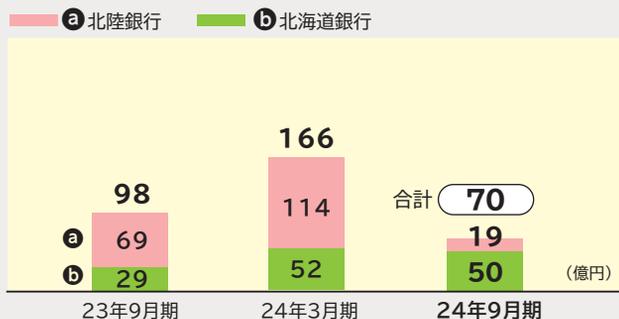
これらの結果、コア業務粗利益は前中間期比38億円減少し、735億円となりました。

### ■ コア業務純益 <2行合算>



コア業務純益は、コア業務粗利益が前中間期比38億円減少したものの、経費が前中間期比29億円減少し、前中間期比9億円減少の250億円となりました。

### ■ (当期・中間)純利益 <2行合算>

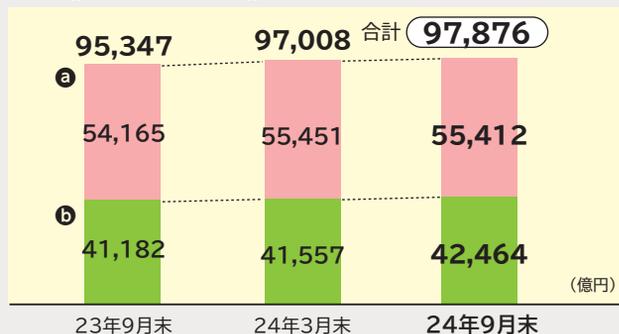


中間純利益は、与信費用および株式等償却が増加したものの、税金費用の減少により前中間期比28億円の減少にとどまり、70億円となりました。

## 預金・貸出金の状況

## ■ 預金（含む譲渡性預金）＜2行合算＞

a 北陸銀行 b 北海道銀行



預金は、個人のお客さまを主体に増加が続き、24年3月末比867億円増加し9兆7,876億円となりました。

## ■ 貸出金＜2行合算＞

a 北陸銀行 b 北海道銀行



貸出金は、地方公共団体向けや住宅系ローンの増加により、24年3月末比268億円増加し7兆3,138億円となりました。

## ■ 中小企業等貸出残高＜2行合算＞

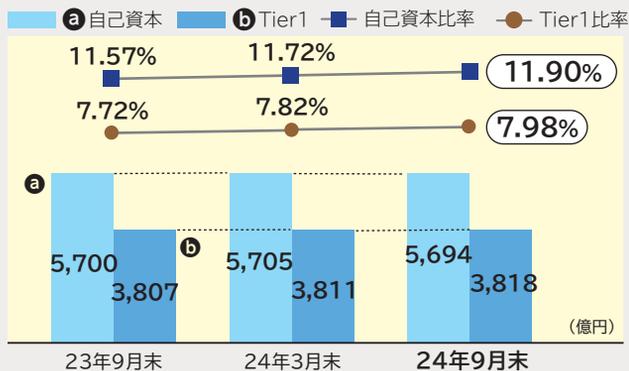
a 北陸銀行 b 北海道銀行



中小企業等貸出は、24年3月末比739億円減少し、4兆6,911億円となりました。  
円滑な地域金融への取り組みを重要な役割ととらえ、積極的に取り組んでおりますが、事業性資金需要の伸び悩みから貸出残高は減少しております。

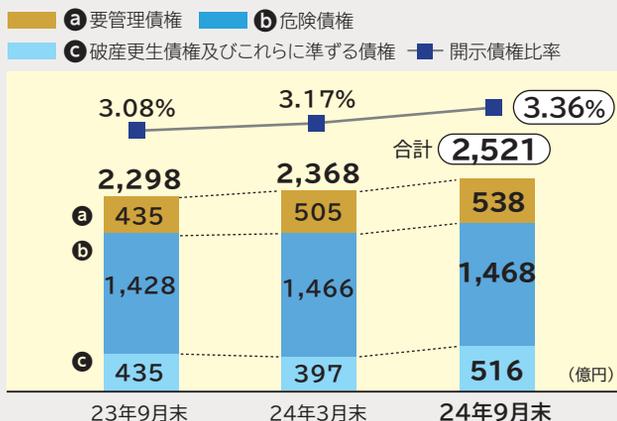
## 健全性の指標

### 自己資本比率<FG連結>



財務の健全性を示す自己資本比率は、利益の積上げとリスクアセットの減少により、24年3月末比0.18ポイント上昇し11.90%となりました。

### 金融再生法開示債権<2行合算>



お取引先に対する経営改善支援の取り組みを強化しておりますが、長引く景気低迷と大口先の法的整理もあり、金融再生法開示債権は24年3月末比153億円増加し、2,521億円となりました。

開示債権比率は同0.19ポイント上昇し、3.36%となりました。

### 格付

日本格付研究所

JCR



格付投資情報センター

R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行は、JCRおよびR&Iより「A(シングルAフラット)」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ております。

銀行持株会社



Hokuhoku  
Financial  
Group, Inc.

名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ  
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号  
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理  
2. 上記経営管理業務に付帯または関連する業務

■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 1,391,630,146株  
第1回第5種優先株式 107,432,000株

### ■ 取締役・監査役の役職および氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	高木 繁雄	取締役 庵 栄伸	
取締役副社長	堰八 義博	取締役 大島 雄次	
取締役	川合 哲	常勤監査役 須河 孝一	
取締役	笹原 晶博	監査役 南 義弘	
取締役	岩崎 民憲	監査役 林 則清	
取締役	木谷 哲也	監査役 前泉 洋三	

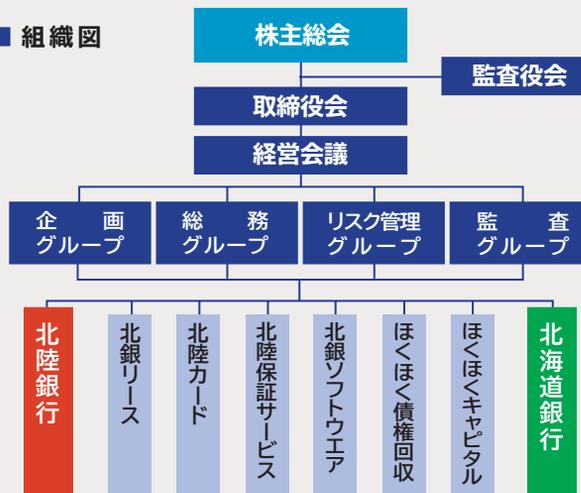
■ 従業員の数 専任者13名、兼務者43名、計56名

■ 設立日 平成15年9月26日

### ■ 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。
監査役会	監査の方針、監査役の職務の執行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行を監査します。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

### ■ 組織図



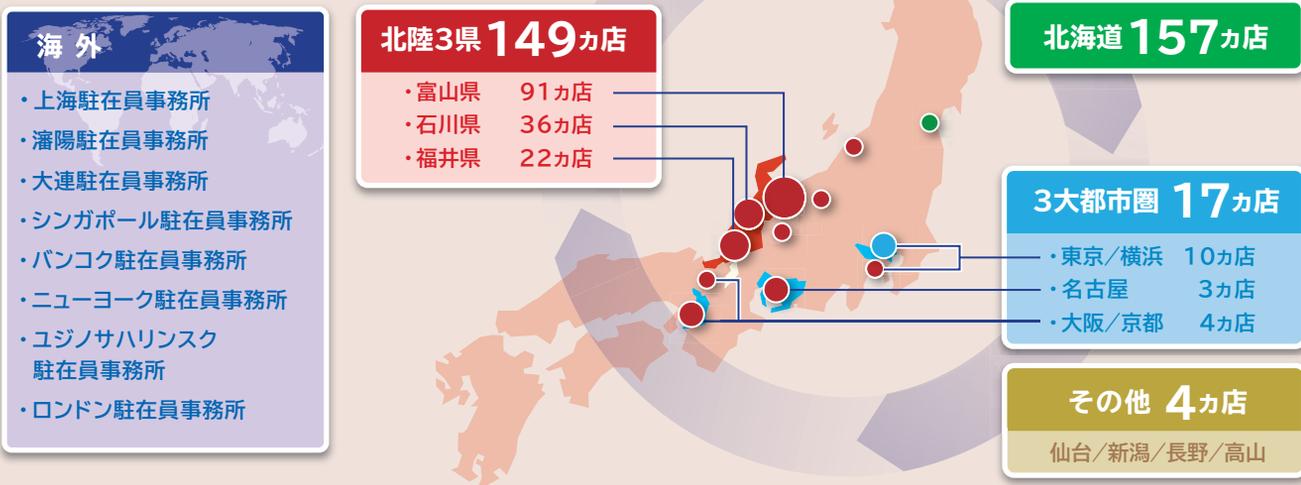
### ■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っております。
(株)北海道銀行	
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っております。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っております。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っております。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

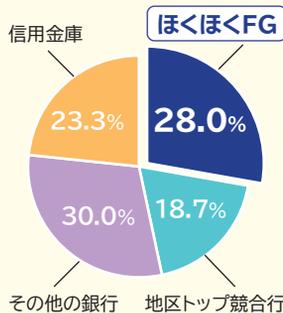
## ■ グループの広域ネットワーク (平成24年9月末現在)



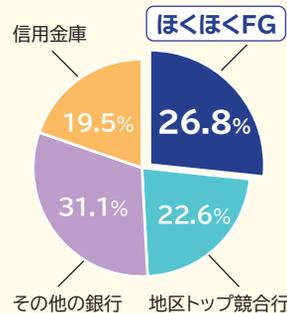
地域とのかかわり

### ■ 北陸3県内 預金・貸出金のシェア

#### 預金のシェア

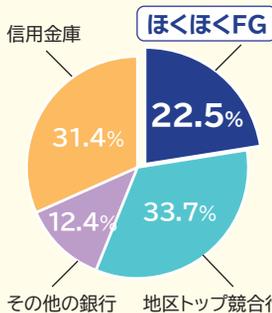


#### 貸出金のシェア

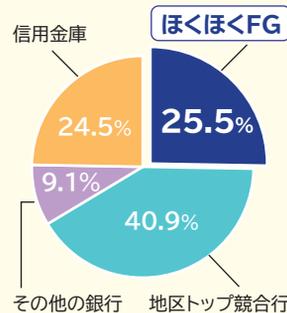


### ■ 北海道内 預金・貸出金のシェア

#### 預金のシェア



#### 貸出金のシェア

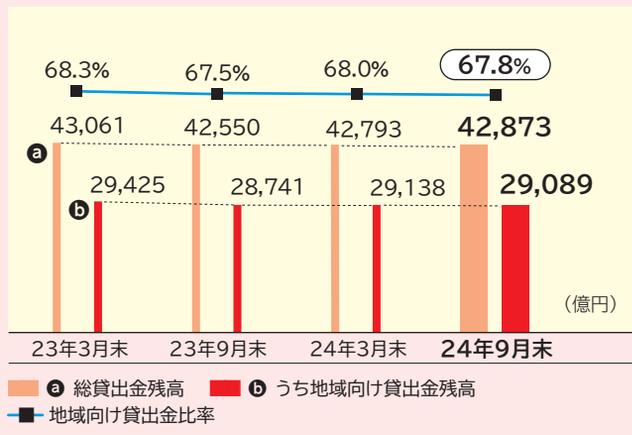


※シェアは、平成24年3月末現在 ※日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成。  
 ※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

## 貸出金の状況

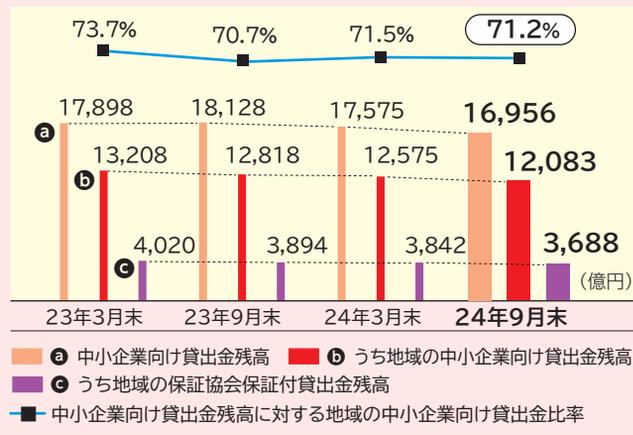
## ■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は2兆9,089億円となり、うち地域向け貸出金比率は67.8%となっております。



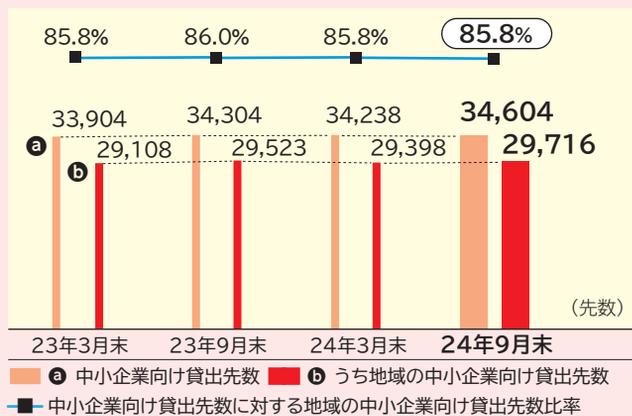
## ■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆6,956億円で、うち地域の中小企業向け貸出金は1兆2,083億円と71.2%を占めております。

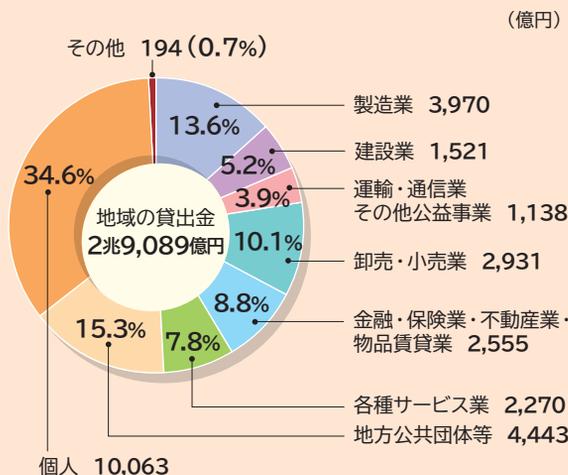


## ■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は34,604先で、うち地域の中小企業向け貸出先数は29,716先と85.8%を占めております。



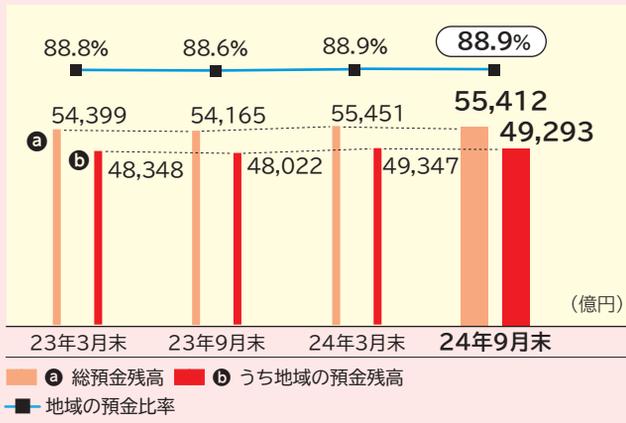
## ■ 地域の業種別貸出残高 (平成24年9月末)



## 預金等の状況

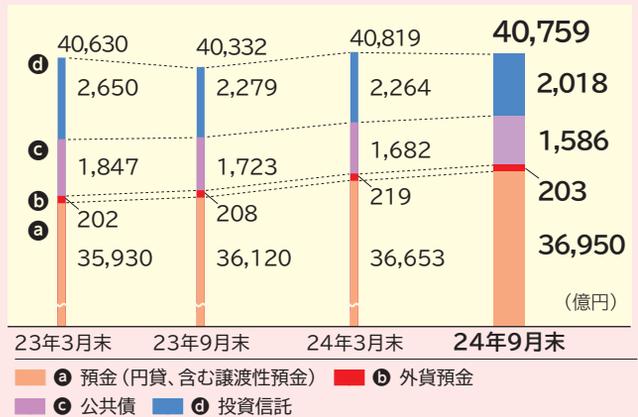
### ■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

総預金は5兆5,412億円、うち4兆9,293億円が地域の預金で、総預金の88.9%を占めております。



### ■ 個人預かり資産の状況

24年9月末の個人預かり資産残高は、4兆759億円、うち預金(円貨、含む譲渡性預金)を除いた投資型金融商品の残高は、3,808億円となりました。

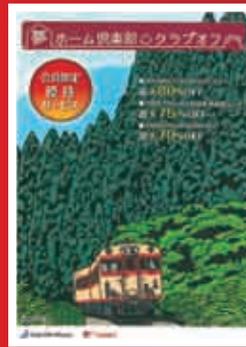


### ■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は29万1千先、給与振込は48万5千先、公共料金の自動口座振替は112万3千先と多くのお客様さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



### マイホームの夢実現のお手伝い



北陸銀行では、お客様のマイホームの夢の実現をお手伝いするために「夢ホームプレミアム」をはじめとして、皆さまのニーズに合わせ、幅広く住宅ローンを取り揃えています。

また、58カ所の「ほくぎんローンプラザ」では、専門スタッフがきめ細かいアドバイスを行い、お客様に適した住宅ローンをお勧めしています。住宅

ローンをご利用のお客様さまには、「ほくぎん夢ホーム倶楽部クラブオフ」の各種サービスがご利用いただけます。

## ビジネスマッチングの取り組み

北陸銀行では、グループの広域店舗網や海外ネットワーク機能を活用した各種情報の提供に努めています。また、お取引先企業に対してビジネス・サミットをはじめとする商談会等を開催し、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでいます。

### 「～首都圏～高級スーパー個別商談会」を開催

7月13日、金沢市で首都圏の高級スーパー7社を招いた「個別商談会」を開催しました。北陸の食品企業の販路拡大を目的に、富山、石川を中心とする29社が参加し、各社こだわりの食材を売り込みました。初開催の本商談会は、富裕層市場を開拓したいという地元メーカーの要望が多く、また北陸新幹線開業を控え首都圏スーパー側の関心も高いため、成約見込みが高い商談が多くなり、売り手・買い手双方から高い評価をいただきました。



### 「ビジネス・サミット2012」を開催

9月7日、大垣共立銀行と共催で、北陸と東海地域の企業の交流商談会「ビジネス・サミット2012」を名古屋市内で開催しました。「美・食・癒やし」をテーマに、女性をターゲットにした商品やサービスを扱う企業が出展しました。流行に敏感な女性を刺激し、消費を喚起するような商品などに焦点を当てたテーマを設定し、食品や化粧品、



雑貨メーカーや旅行関係の企業など136社・団体が、販路開拓に向けて出展しました。当日は約2,600人が来場し、事前ヒアリングに基づきバイヤー88社と約1,200件の商談が行われました。

### 「海外バイヤー招聘商談会@富山県ものづくり総合見本市2012」を開催

9月27日～28日、富山県をはじめ国内外のものづくり技術を紹介する「富山県ものづくり総合見本市」に合わせ、富山を中心とする北陸企業の海外への販路開拓・拡大を支援する目的で、富山県、ジェトロ富山貿易情報センターとともにASEANやインドの5カ国からバイヤーを招聘した商談会を開催しました。

## 海外進出支援

昭和24年に地銀初の外国為替公認銀行として認可され、全世界にコルレス・ネットワークを構築するなど、北陸銀行は戦後のお取引先の国際化を積極的に支援してきました。近年の地域経済の国際化にも対応し、中国を中心とするアジア諸国との政府機関や有力外国銀行との連携に力を入れてきました。

### 山口銀行と国際業務提携

5月30日、海外進出や貿易等の海外ビジネスを展開するお取引先企業の支援体制をより充実するために、山口銀行と両行の海外拠点の相互活用等を内容とする国際業務に係る提携の覚書を締結しました。今回の提携により、山口銀行の中国・韓国支店から北陸銀行お取引先の現地法人への融資など海外での支援体制をより充実させております。

また、6月1日には新日本有限責任監査法人と海外進出支援に関する業務提携を締結しました。33カ国に海外駐在を有する国内大手の新日本有限責任監査法人は、世界約140カ国に152,000人のプロフェッショナルを擁するアーンスト アンド ヤングのメンバーファームであり、より高度で専門的な海外進出へのサポートの提供が可能となりました。

### 海外ビジネスマッチング、グローバルセミナーの開催



北陸銀行では、外国企業とのビジネスの橋渡しも積極的に行っています。7月13日、中国・大連市において3回目となる「地方銀行合同企業交流会」を開催しました。今年は、大垣共立銀行・八十二銀行・北海道銀行に加え、5月に業

務提携を結んだ山口銀行も参加し、53社76名が出席しました。

9月12、13日には、地方銀行などが共催する「日中ものづくり商談会@上海2012」に参加しました。上海での商談会開催は今回で8回目となり、お取引先からは高い評価と期待をいただいています。

また、中国・ASEAN地域などの地域別や、貿易・投資保険、海外進出事例の紹介などさまざまなテーマによるグローバルセミナーを開催しています。

7月20日 中国浙江省寧波市で商談会開催

平成21年2月に経済協力協定を結んだ寧波市で、ビジネスマッチング商談会を開催しました。寧波市は、自動車部品、機械、家電、金型などの製造業が主力産業であり、北陸地域とも業種的な関連性が強く、近年お取引先からの部材調達ニーズが強まっています。今回の商談会は、仕入あるいは委託・協力工場の発掘を目的に、北陸銀行主催で開催しました。



9月1日 美術館「ギャラリー・ミレー」を開館



風景画や農民画で知られるフランスのバルビゾン派の絵画を展示する美術館「ギャラリー・ミレー」を、富山市中央通りの「ルシーダタワー」1階にオープンしました。

メインの展示室には、ミレーの大作「羊の毛を刈る女」をはじめ、19世紀中頃パリ郊外で活躍したバルビゾン派のカラー、ドービニー、そして写実主義の巨匠クールベなどの作品計26点を展示し、順次入れ替えを行います。同時に、企画展として北陸ゆかりの版画家棟方志功、洋画家の藤森兼明、中川一政など8人の11作品も展示しています。

富山県、富山市、中央通り商店街振興組合、富山大学などで構成する運営委員会に美術館の運営をお願いし、

24年7月 —> 24年11月



北陸新幹線開業を控え、富山市中心市街地の活性化に資する『街なか美術館』として、地域に愛される施設となるよう育てていきます。

9月7日 大垣共立銀行と「災害時相互協力協定」を締結

包括的業務提携先である大垣共立銀行と災害時の相互協力協定を締結しました。災害時には、支援物資の提供のほか、行員の相互派遣やATMを搭載した移動車両店舗をお互いに活用することで、被災地での銀行業務の継続についても協力が可能となります。大垣共立銀行は岐阜県内、名古屋市内に店舗を展開しており、両行の本店が大垣市・富山市と離れていることから、災害時には有効な協力体制が構築できます。



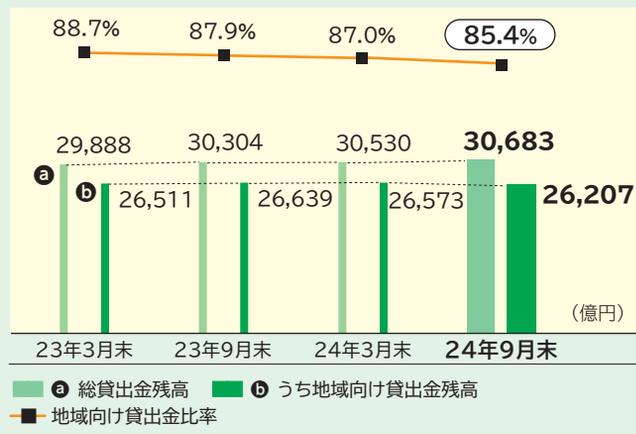
11月19日 3出張所が支店昇格

中期経営計画「ハイブリッドI・S・M」の店舗戦略に基づき、11月19日に豊田、高岡清水町、西岡の各出張所が、それぞれ支店に昇格しました。これで出張所からの昇格店は11カ店になりました。フルバンキング機能を備えつつ、主に個人や家業の皆さまに特化したサービスを提供し、これまで以上にそれぞれの地域で「親しまれ、頼りにされる銀行」を目指していきます。

## 貸出金の状況

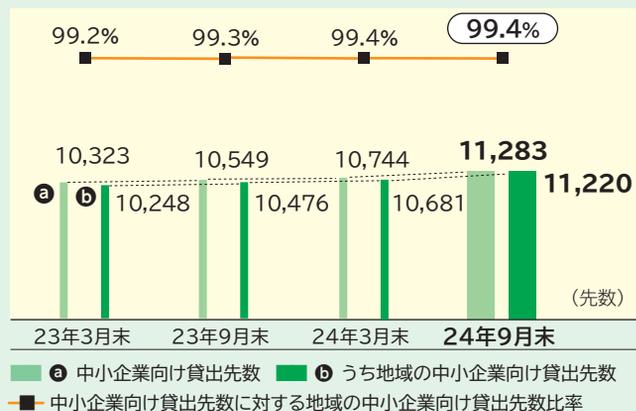
## ■ 地域向け貸出金の状況

地域向け貸出金は、2兆6,207億円となりました。総貸出金のうち地域向け貸出金比率は85.4%となっております。



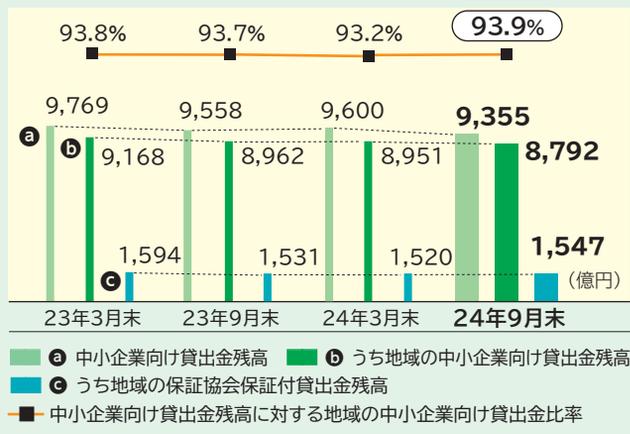
## ■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は11,283先で、うち地域の中小企業向け貸出先数は11,220先と99.4%を占めております。

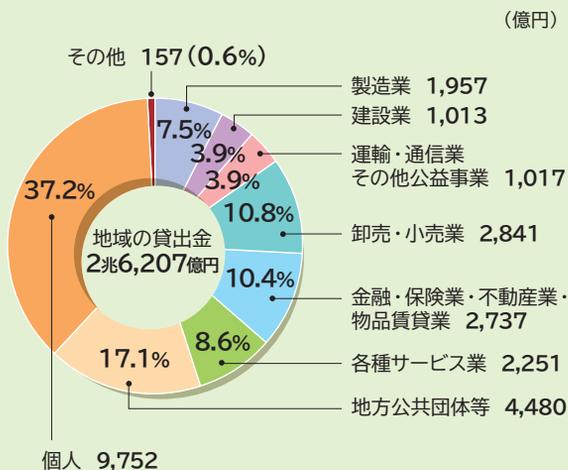


## ■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は9,355億円で、うち地域の中小企業向け貸出金は8,792億円と93.9%を占めております。



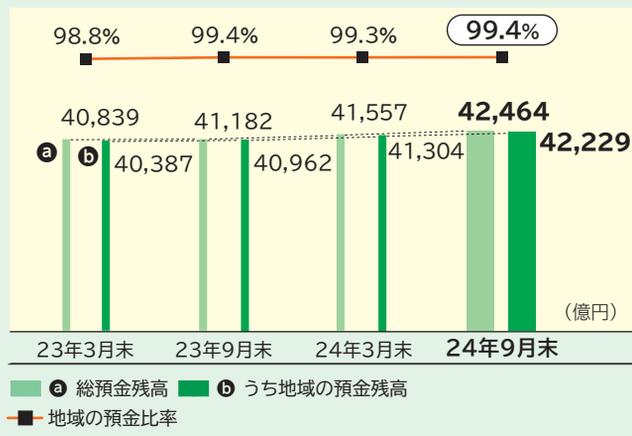
## ■ 地域の業種別貸出残高 (平成24年9月末)



## 預金等の状況

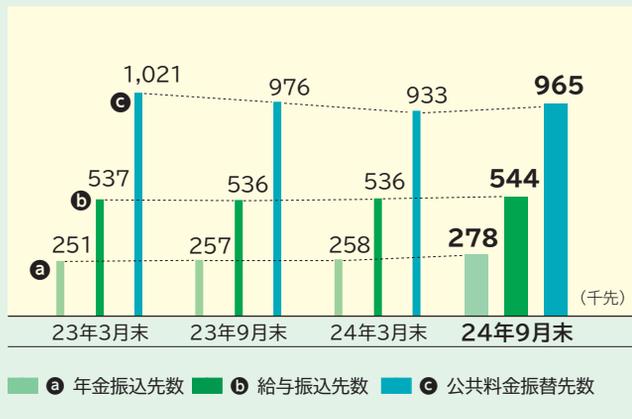
### ■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

総預金は4兆2,464億円、うち4兆2,229億円が地域の預金で、総預金の99.4%を占めております。



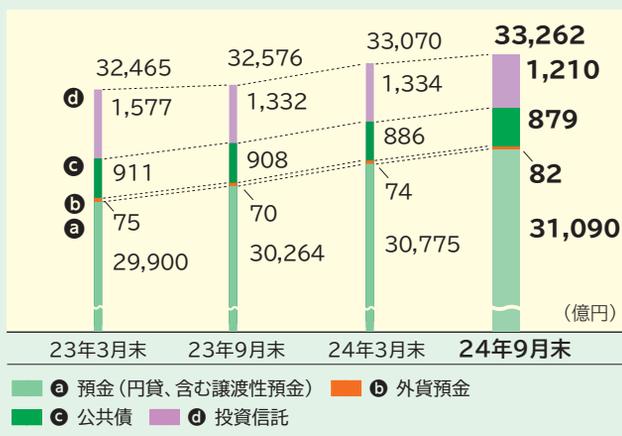
### ■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は27万8千先、給与振込は54万4千先、公共料金の自動振替は96万5千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



### ■ 個人預かり資産の状況

24年9月末の個人預かり資産残高は、3兆3,262億円、うち預金(円貨、含む譲渡性預金)を除いた投資型金融商品の残高は、2,171億円となりました。



### ★「ジャンボ宝くじ付き定期預金」発売継続!

高額当せん  
5年連続 6回目



「夢がついてくる!」でおなじみの、北海道銀行「ジャンボ宝くじ付き定期預金」は、平成15年の取扱開始以来、ご好評をいただいております。

「平成23年年末ジャンボ宝くじ付き定期預金」まで、1等前後賞合わせて3億円の高額当せんがあり、1億円以上の高額当せんは5年連続6回目となりました。

北海道銀行の看板商品として、この定期預金はたくさんのお客さまに親しまれています。

## 海外進出支援

北海道銀行では、アジアを中心に構築した海外ネットワークを活かしながら、商談会やセミナーを積極的に開催し、道内企業の海外展開を全面的に支援しています。

### ロシア最大手銀行「ズベルバンク」極東支部との協力発展合意書締結

5月22日、北海道銀行はロシアの最大手銀行のズベルバンク極東支部とロシア極東ハバロフスクで協力発展合意書を締結しました。

締結に伴い、北海道銀行はズベルバンクに日本円、米ドル、ロシアルーブルの3通貨の口座を邦銀として初開設し、日本とロシアの企業との決済の円滑化を図り、また、共同でセミナーや展示会の開催や貿易や取引にかかわる現状や法的な問題の情報を交換し、両国の顧客同士のビジネス展開を支援していきます。



ロシアの銀行と共催して取引先企業の交流を図る試みは、邦銀初めてのことであり、ロシア側は30社が参加し、本取組みへの関心の高さが伺えました。

### 「第3回 北海道『観光』特別商談会from中国」の開催

地域に根ざしたビジネスを展開する北海道銀行では、地域振興策として「インバウンド」を切り口とした観光振興に取り組んでいます。

6月14日開催の「第3回北海道『観光』特別商談会from中国」では、道内企業90社と中国の旅行会社（瀋陽・大連・北京・上海・蘇州・杭州・広州）30社との間で500を超える個別商談を実施し、取引先の支援とツアー組成の推進を図りました。



### 第5回 日露投資フォーラムへの参加



6月6日、ロシア連邦タタールスタン共和国カザン市において、APEC貿易担当大臣会合と併催された第5回日露投資フォーラムに北海道銀行が参加し、「北海道銀行のロシア極東とのビジネス協力」について発表しました。

本フォーラムは日本企業のロシア市場進出および投資の拡大を目的としており、日露の政府およびビジネス関係者が一同に会し、情報の交換、人脈の形成などの貴重な機会を提供する場として重要な役割を果たしています。

特に今年のフォーラムはAPEC貿易担当大臣会合との併催であり、日本から経済産業大臣やロシアNIS貿易会会長はじめ経済界の要人が多数出席するなど、日露双方から多くの注目を集めました。

### ズベルバンクと取引先企業情報交換会の開催

7月12日、ロシア連邦沿海州ウラジオストク市のズベルバンク沿海州支店内において、ズベルバンクと共催による双方取引先企業情報交換会を開催しました。



## アグリビジネス支援

北海道銀行では、アグリビジネス推進室が中心となり、アグリビジネスサポート体制を強化してきました。現在、日本政策金融公庫農林水産事業が認定する農業経営アドバイザーの有資格者が全国の金融機関で最多の29名となり、農業がわかる職員を営業店や本部に配置して、会計や財務、マーケティングなど、農業経営全般について農業生産者のサポートを行っています。

### アグリビジネスフォーラム2012の開催



10月31日に「アグリビジネスフォーラム2012」を開催しました。北海道の基幹産業である農業の中でも、安全・安心かつ安定的な食料の確保のために注目を集める「植物工場」をテーマにしています。「植物工場」は、既存の農業者にとっては冬季間を含めた周年農業の展開、また一般企業にとっては新たな事業展開としての可能性を拓けるものです。本フォーラムでは、「植物工場」に関する最先端の情報を発信しました。

### 6月29日 女性向け住宅ローン「リラ」の取扱開始



働く女性を応援する住宅ローンとして『道銀住宅ローン「リラ」』の取り扱いを開始しました。

本商品の特徴は、お申込みいただける方を女性に

限定し、融資金利を通常の住宅ローンより優遇した取り扱いとしております。

また、「リラ」をご契約の方には、宿泊やグルメ、エステなど女性に喜んでいただけるメニューをお得な優待価格でご利用いただける会員制サービスをご提供しております。北海道銀行では、今後ともお客さまのさまざまなご要望にお応えしていきます。

### 7月6日 道銀経営塾「共栄会」(卒業生の会)を発足

北海道銀行は、お取引先企業の人材育成支援として、後継者を対象とする「道銀経営塾」を平成8年度より毎年開催しており、これまで351名の卒業生を輩出しています。平成22年度からは、経営幹部を対象とする「道銀経営塾(幹部育成コース)」もスタートしました。このたび、卒業生同士の交流と継続的なサポートを目的に、「道銀経営塾」卒業生の会「共栄会」を立ち上げ、7月6日に発足会兼第1回定例会を開催、総勢200名が参加しました。



### 9月15日「どうぎんカーリングスタジアム」オープン!

北海道銀行がネーミングライツを取得した初の公共施設「どうぎんカーリングスタジアム」が札幌市にオープンしました。

公共施設としては全国で



初めての通年型カーリング専用施設で、北海道銀行がメインスポンサーであるカーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」のホームスタジアムとしても活用されます。

日本カーリング選手権大会や国際大会等の開催も多数予定しており、『大倉山ジャンプ競技場に並ぶ札幌市のウィンタースポーツの観光施設』としての普及が期待されています。

### 10月1日 道銀地域総合研究所の事業開始

株式会社道銀地域総合研究所が北海道銀行の子会社として事業を開始しました。

セミナーや各種コンサルティングを行う「コンサルティング部」、地域の各種戦略立案・個別調査受託や事業化の支援をする「地域戦略研究部」、マクロ経済調査を中心とした地域経済の発展に寄与する情報の発信を担う「経済調査部」の3部門を柱に、北海道銀行グループとして、地域の皆さまのさまざまなニーズにお応えするために、シンクタンク機能を発揮し、地域の発展・活性化に寄与してまいります。

参考 <http://www.lilac.co.jp/doginsoken/>



### 10月2日「酪農学園大学」と包括連携協定を締結

江別市の酪農学園大学と包括連携協定を締結しました。本協定は、産学間の連携を通して相互の発展に寄与するとともに、銀行が有する企業とのネットワークと大学が有する専門的知見を活用して、新規事業の創出等を後押しすることを目的としています。

北海道銀行では、かねてより農業を成長分野と位置づけて注力しており、大学の専門的知見を活用することで、より質の高いサービスが提供できるものと考えております。



## 中間貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	2,990	流動負債	168
現金及び預金	2,770	未払配当金	86
前払費用	4	未払費用	61
未収収益	53	未払法人税等	9
未収還付法人税等	161	未払消費税等	5
固定資産	245,872	預り金	4
有形固定資産	1	その他	0
器具及び備品	1	固定負債	18,191
無形固定資産	0	社債	18,000
商標権	0	役員退職慰労引当金	191
ソフトウェア	0	負債の部合計	18,360
投資その他の資産	245,870	純資産の部	
関係会社株式	227,870	資本金	70,895
関係会社長期貸付金	18,000	資本剰余金	142,087
その他	0	資本準備金	82,034
		その他資本剰余金	60,052
		利益剰余金	24,019
		その他利益剰余金	24,019
		繰越利益剰余金	24,019
		自己株式	△6,499
		株主資本合計	230,502
		純資産の部合計	230,502
資産の部合計	248,862	負債及び純資産の部合計	248,862

## 中間損益計算書 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

営業収益	1,115
関係会社受取配当金	808
関係会社受入手数料	307
営業費用	272
販売費及び一般管理費	272
営業利益	843
営業外収益	133
関係会社貸付金利息	123
その他の営業外収益	10
営業外費用	169
社債利息	123
事務委託費	45
経常利益	808
税引前中間純利益	808
法人税、住民税及び事業税	1
法人税等合計	1
中間純利益	807

## 中間株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
平成24年4月1日残高	70,895	82,034	60,052	142,087	29,228	29,228	△570	241,640	241,640
当中間変動額									
剰余金の配当	-	-	-	-	△6,016	△6,016	-	△6,016	△6,016
中間純利益	-	-	-	-	807	807	-	807	807
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	△5,929	△5,929	△5,929
自己株式の処分	-	-	△0	△0	-	-	0	0	0
当中間変動額合計	-	-	△0	△0	△5,209	△5,209	△5,928	△11,138	△11,138
平成24年9月30日残高	70,895	82,034	60,052	142,087	24,019	24,019	△6,499	230,502	230,502

中間連結貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

(単位:百万円)

<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	402,508	預金	9,596,974
コールローン及び買入手形	94,672	譲渡性預金	170,074
買入金銭債権	116,017	コールマネー及び売渡手形	2,328
特定取引資産	7,220	特定取引負債	2,208
金銭の信託	3,973	借入金	231,032
有価証券	2,404,169	外国為替	143
貸出金	7,299,751	社債	33,000
外国為替	10,161	その他負債	100,146
その他資産	160,238	退職給付引当金	9,549
有形固定資産	107,536	役員退職慰労引当金	680
無形固定資産	40,560	偶発損失引当金	2,894
繰延税金資産	38,879	睡眠預金払戻損失引当金	1,173
支払承諾見返	88,816	再評価に係る繰延税金負債	7,507
貸倒引当金	△83,848	支払承諾	88,816
		<b>負債の部合計</b>	<b>10,246,529</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	70,895
		資本剰余金	153,188
		利益剰余金	189,947
		自己株式	△6,534
		株主資本合計	407,496
		その他有価証券評価差額金	26,200
		繰延ヘッジ損益	△0
		土地再評価差額金	9,339
		その他の包括利益累計額合計	35,539
		少数株主持分	1,093
		<b>純資産の部合計</b>	<b>444,130</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>10,690,659</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>10,690,659</b>

中間連結損益計算書 (平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益		105,777
資金運用収益	68,280	
(うち貸出金利息)	(56,472)	
(うち有価証券利息配当金)	(10,812)	
役務取引等収益	18,596	
特定取引収益	168	
その他業務収益	16,992	
その他経常収益	1,739	
経常費用		96,802
資金調達費用	5,805	
(うち預金利息)	(4,086)	
役務取引等費用	6,881	
その他業務費用	4,840	
営業経費	53,950	
その他経常費用	25,324	
経常利益		8,975
特別損失		232
税金等調整前中間純利益		8,742
法人税、住民税及び事業税	987	
法人税等調整額	1,557	
法人税等合計		2,544
少数株主損益調整前中間純利益		6,197
少数株主利益		90
中間純利益		6,107

中間連結株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
平成24年4月1日残高	70,895	153,188	189,845	△605	413,322	26,898	△15	9,351	36,234	1,003	450,561
当中間期変動額											
剰余金の配当	-	-	△6,016	-	△6,016	-	-	-	-	-	△6,016
中間純利益	-	-	6,107	-	6,107	-	-	-	-	-	6,107
自己株式の取得	-	-	-	△5,929	△5,929	-	-	-	-	-	△5,929
自己株式の処分	-	△0	-	0	0	-	-	-	-	-	0
土地再評価差額金の取崩	-	-	11	-	11	-	-	-	-	-	11
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	△697	14	△11	△695	89	△605
当中間期変動額合計	-	△0	102	△5,928	△5,826	△697	14	△11	△695	89	△6,431
平成24年9月30日残高	70,895	153,188	189,947	△6,534	407,496	26,200	△0	9,339	35,539	1,093	444,130

## 中間貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

(単位:百万円)

<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	282,867	預金	5,418,894
コールローン	14,672	譲渡性預金	122,314
買入金銭債権	116,010	コールマネー	2,328
特定取引資産	5,054	特定取引負債	2,208
有価証券	1,178,207	借入金	136,922
貸出金	4,245,515	外国為替	96
外国為替	4,359	その他負債	34,330
その他資産	61,151	退職給付引当金	113
有形固定資産	81,845	役員退職慰労引当金	294
無形固定資産	7,981	偶発損失引当金	2,136
繰延税金資産	22,908	睡眠預金払戻損失引当金	740
支払承諾見返	39,459	再評価に係る繰延税金負債	7,507
貸倒引当金	△46,355	支払承諾	39,459
		<b>負債の部合計</b>	<b>5,767,346</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	60,215
		利益準備金	6,862
		その他利益剰余金	53,352
		繰越利益剰余金	53,352
		株主資本合計	215,623
		その他有価証券評価差額金	21,369
		繰延ヘッジ損益	△0
		土地再評価差額金	9,339
		評価・換算差額等合計	30,708
		<b>純資産の部合計</b>	<b>246,331</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>6,013,678</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>6,013,678</b>

## 中間損益計算書 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	56,201
資金運用収益	39,025
(うち貸出金利息)	(31,147)
(うち有価証券利息配当金)	(7,055)
役員取引等収益	9,145
特定取引収益	101
その他業務収益	6,944
その他経常収益	983
経常費用	53,891
資金調達費用	3,367
(うち預金利息)	(2,343)
役員取引等費用	3,517
その他業務費用	57
営業経費	27,619
その他経常費用	19,329
経常利益	2,309
特別損失	182
税引前中間純利益	2,127
法人税、住民税及び事業税	539
法人税等調整額	△338
法人税等合計	201
中間純利益	1,926

## 中間株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金繰越利益剰余金							利益剰余金合計
平成24年4月1日残高	140,409	14,998	14,998	6,862	51,414	58,277	213,685	20,997	△15	9,351	30,333	244,019
当中間期変動額												
中間純利益	-	-	-	-	1,926	1,926	1,926	-	-	-	-	1,926
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	11	11	11	-	-	-	-	11
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	371	14	△11	374	374
当中間期変動額合計	-	-	-	-	1,937	1,937	1,937	371	14	△11	374	2,312
平成24年9月30日残高	140,409	14,998	14,998	6,862	53,352	60,215	215,623	21,369	△0	9,339	30,708	246,331

中間貸借対照表 (平成24年9月30日現在)

(単位:百万円)

<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	118,710	預金	4,191,259
コールローン	80,000	譲渡性預金	55,160
商品有価証券	2,166	借入金	110,740
金銭の信託	3,973	外国為替	46
有価証券	1,214,489	社債	15,000
貸出金	3,068,382	その他負債	40,785
外国為替	5,802	退職給付引当金	9,046
その他資産	64,097	役員退職慰労引当金	176
有形固定資産	30,554	偶発損失引当金	757
無形固定資産	7,250	睡眠預金払戻損失引当金	432
繰延税金資産	16,839	支払承諾	29,517
支払承認見返	29,517	<b>負債の部合計</b>	<b>4,452,921</b>
貸倒引当金	△23,658	<b>純資産の部</b>	
<b>資産の部合計</b>	<b>4,618,125</b>	資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	45,616
		利益準備金	5,722
		その他利益剰余金	39,893
		繰越利益剰余金	39,893
		株主資本合計	155,935
		その他有価証券評価差額金	9,268
		評価・換算差額等合計	9,268
		<b>純資産の部合計</b>	<b>165,204</b>
		<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>4,618,125</b>

中間損益計算書 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	42,316
資金運用収益	29,366
(うち貸出金利息)	(25,286)
(うち有価証券利息配当金)	(3,907)
役員取引等収益	7,566
その他業務収益	4,514
その他経常収益	870
経常費用	35,191
資金調達費用	2,427
(うち預金利息)	(1,745)
役員取引等費用	4,020
その他業務費用	445
営業経費	23,424
その他経常費用	4,872
経常利益	7,125
特別利益	2
特別損失	45
税引前中間純利益	7,082
法人税、住民税及び事業税	17
法人税等調整額	1,984
法人税等合計	2,001
中間純利益	5,080

中間株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金					利益剰余金合計
平成24年4月1日残高	93,524	16,795	16,795	5,561	35,780	41,341	151,660	10,427	10,427	162,088
当中間期変動額										
剰余金の配当	-	-	-	161	△966	△805	△805	-	-	△805
中間純利益	-	-	-	-	5,080	5,080	5,080	-	-	5,080
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	△1,159	△1,159	△1,159
当中間期変動額合計	-	-	-	161	4,113	4,274	4,274	△1,159	△1,159	3,115
平成24年9月30日残高	93,524	16,795	16,795	5,722	39,893	45,616	155,935	9,268	9,268	165,204

## 株式のご案内

決算期 毎年3月31日

定時株主総会の基準日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当の基準日 期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

1単元の株式数 1,000株

証券コード 8377

上場金融商品取引所 東京証券取引所(第一部)

(普通株式) および札幌証券取引所

公告方法 電子公告により当社ホームページに  
掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によ  
って電子公告による公告をすることが  
できない場合は、

日本経済新聞に掲載します。

※公告掲載の当社ホームページアドレス

(<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>)

株主名簿管理人・ 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

## 株式に関する諸手続きについて

## ① 普通株式をご所有の株主さま

## ● 「一般口座」に記録されている株式

住所変更等の各種お届け出につきましては、口座を開設され  
ている証券会社等<sup>※1</sup>が窓口になります。

※1 配当金領収証による未払配当金(支払期間経過後の株式配当  
金)は、株主名簿管理人であるみずほ信託銀行、みずほインスター  
ズ証券<sup>※2</sup>(取次のみ)およびみずほ銀行の本支店が窓口になります。

※2 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)も窓口になります。また、  
平成25年1月4日以降は、みずほ証券となります。

## ● 「特別口座」に記録されている株式

「特別口座」に記録された株式に関する振替請求や、住所変更等  
の各種お届け出につきましては、特別口座管理機関であるみずほ  
信託銀行およびみずほインスターズ証券<sup>※2</sup>の本支店<sup>※3</sup>が窓  
口になります。

※3 配当金領収証による未払配当金のみ、みずほ銀行の本支店も窓  
口になります。なお、みずほインスターズ証券においては、取次のみ  
となります。

## ② 優先株式をご所有の株主さま

みずほ信託銀行およびみずほインスターズ証券の本支店に  
おいて各種ご請求・お届け出を承っております。

## お問合せ先・郵便物の送付先

## ● 各種お手続きに関するご質問・お手続き書類の請求先

フリーダイヤル <sup>みずほ</sup> 0120-288-324

受付時間：平日9時～17時(土曜日・日曜日・祝祭日を除く)

## ● 郵送によるお手続き書類の提出先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

## 経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

## 地域共栄

社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

## 公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

## 進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

## ホームページのご案内

## ほくほくフィナンシャルグループ

ほくほくフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データ、IR情報など最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>



## 北陸銀行

取扱商品・サービスやキャンペーンのお知らせから店舗やATM(コンビニATMを含む)の所在地・ご利用時間まで、さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しております。

<http://www.hokugin.co.jp/>



## 北海道銀行

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しております。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>



## コーポレートマーク

垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたあるブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。



## 金融ADR制度への取り組み

当社グループの北陸銀行、北海道銀行では、お客さまからのご意見・苦情等につきまして、迅速かつ適切な対応を行うべく、指定紛争解決機関である全国銀行協会と契約を締結しております。指定紛争解決機関は、中立・公正な立場で、解決のための取り組みを行います。

## 北陸銀行・北海道銀行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先：全国銀行協会相談室

電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772

**株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ**

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

**株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ**

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

**株式会社 北海道銀行 経営企画部広報CSR室**

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

